

## 透過原稿ユニットを利用したイラストレーションの実例

デザイン学科

遠藤拓人

### Illustrations example using TRANSPARENT ORIGINAL READ UNIT

Department of Design

ENDO Takuto

私は大学院在学時から透過原稿ユニットを利用したイラストレーションの制作を行ってきた。

一般的にスキャナーは対象物に光を当て、その反射を利用して原稿の図像を読み込む。一方で透過光スキャナーは対象物の上から光を当て、透過された光を読み込むことによって図像を得る。おもに写真のフィルムを読み込む時に使用される機能だ。

透過光を利用することにより、紙などの対象物の表面ではなく、中の繊維の重なりを写し取ることができる。それをテクスチャーとして利用し、デジタルによる作品制作を行ってきた。

また、そのテクスチャーに対し、Photoshop上でコントラスト、レベル補正、カラーバランス、色相彩度などを調整することで様々な色彩を与えることができる。

デジタルのみによる作画は平滑になりやすく、ブラシツールなどを利用しても「実にデジタルらしい」「デジタル臭をぬぐいきれない」表現になりがちである。

アナログ画材で描かれた線画を別途スキャンし、Photoshop上でそのテクスチャーを乗算することによって（もしくは切り抜きによりはめ込むことによって）、デジタルによる作画にアナログとしての要素を加えることができ、表現の新たな幅を生み出すことが可能になる。





























